

おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー部報第 19 号 (9 月 27 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

モンテBに痛い敗戦 降格ほぼ決定

9月22日(土)天童市スポーツセンターにてY1モンテB戦が行われました。天童市スポセンは天然芝なのですが、ピッチ中央部分の芝が荒れている。決して良好とはいえないピッチコンディションながら、タッチライン際は良い状態なので、気持ち良くサッカーがやれそう。モンテには活きのいいジュニアユースの選手の姿がちらほら。前節上山明新館との直接対決に敗れたメンバーとは異なるメンバーで来ることが予想される。正直「ヤバイかも・・・」と弱気になりましたが、「半分中学生相手のチームに負けるわけにはいかない」と気を取り直す。応援席にはいつもながらたくさんの保護者が集まって下さっている。当日気付きませんでしたでしたが、**前半、校長先生もいらして下さっていたとのこと**。ともかく重要な試合であることを、皆さん分かって下さっている。選手もいつも以上に気合が入っているような印象を受けましたが・・・。

試合が始まると、すぐモンテペース。いつもながら、誰がボールにプレッシャーに行っているのか、あいまいな時間があり、モンテに付け入る隙を与えている。モンテの前線の選手はスピードがあり、情けない話だが、**ジュニアユースの選手に翻弄されている**。左サイド(モンテからすれば右サイド)にて、ドリブルをするモンテ選手に対してMFとDFの二人がかりで対応しながら、挟み込む適切なポジション取りをしなかったものだから結局CKを与えてしまう。「この間(挟み込むディフェンスのやり方を)確認したはずなんだけどな～」とベンチで嘆く。要は、知識としては分かっているが「身につけていない」ということ。そのCK、やや高いボールをニアサイドで競り合い、どちらの選手も頭に当てることができなくてそのままゴール中央に流れたボールを、モンテの大型ボランチがボレーシュート。これがネットを揺らすファインシュートとなり、**前半10分経たないうちに失点となる**。この失点シーン、①そもそもCKを与えてはいけなかったのですが、②ゴール中央付近にいた選手がボールが流れたときのために備えていなかった(予測・準備の怠慢)、そして自分が跳ね返さなければという気持ちが欠けていた(責任感の欠如)、③大型ボランチにマンマークしていた選手が簡単にマークを外された——と以上のように、やっちはいけない軽いプレーが連続している。できれば④ニアサイドでヘディングに勝ち跳ね返すべきであった、という反省もできますが、**競り合いが弱いだけでなく、そもそも競り合わない(みんな誰かがやってくれるとどこかで思っている)ことが山東の現状の最大の問題点と思っており、特に②に問題の深さを感じる**。その後、CDFのもたつきを咎められ、ミスがらみで追加点献上。こういう点の取り方、活きのいいFWがいた年には山東の得意技だったのにな～と回顧してしまう。仕上げは、サイドを突破され、そのままフィニッシュに至るプレーを許し、失点。ため息の前半。モンテFWに走られ、DFラインが下げさせられ、DF-MF間の大きく

空いたエリアでボールを保持される苦しい展開ばかり。対して山東の攻撃は単発のものばかり。モンテとの実力の違いを見せつけられた前半となる。

後半はロングボール主体の山東の攻撃が機能する場面が見られ、前半よりは押し込む時間が増えるものの、モンテは押し込まれた中でもFW、MFがボールをしっかり収めるとともに、味方選手がボールをどんどん追い越してくるものだから、カウンターが鋭い。要は、山東も攻め込むことができるものの、いつ失点してもおかしくない試合状況。**後半は GK ヒデアキのファインプレーが光り、無失点に抑えることに成功するものの、山東が守った、というより、モンテが外した、という印象。**山東は前線への長いボールをFWが頑張って競り合いに勝つ形から幾度かシュートチャンスを作り、そのうち1点をもぎ取るものの、**結局 1 - 3 の敗戦。後半の勢いをなぜ前半から出せなかったか、悔やまれる試合となりました。**

これで、得失点の関係もあり、実質的に自動降格順位 7、8 位確定。最終節の上山明新館に勝つと7位となり、プリンス2部の日大山形が昇降格決定戦に勝ち残留し、かつ、Y1優勝チームが昇降格決定戦に勝ち昇格すると、7位も残留できますので、「まだ目はある」のですが、**これは完全に他力の話ですので、考えないことにします。ともかく、降格ほとんど決定！！**1試合に14失点もするようなチーム、しかも、その他の試合でも平均4失点している(13試合で58失点、ちなみに得点は16)。**実力に合わないリーグに在籍していることは明らかであり、来季は清々しい気持ちでY2で戦おうと思います。もちろん、降格云々に関わらず、上山明新館戦は全力で戦いますが。**応援よろしく申し上げます。

9月30日(日) Y1 上山明新館戦 10:00~ @天童第二

選手権・県新人激励会 賑やかに挙行さる

9月16日(日)三連休の中日に保護者会主催の選手権・県新人の激励会がホテルメトロポリタン山形にて行われました。前の週に地区新人が行われ「地区大会の山東」の異名そのままに県新人を決めたことから、選手権とともに県新人の激励会も行うことができました。OB会から、清野会長、後藤報道局長、鈴木卓さん、芹川トレーナー、斎藤雄GKコーチのご臨席を賜るとともに、選手数をはるかに上回る保護者の方にご出席いただき、賑やかに執り行われました。S村顧問は、長男誕生間近、ということで欠席しました¹。

まず清野会長から「絶対に勝つという気持ちが大切」といつも通り熱いお言葉を頂戴してから乾杯。そうなんですよね、会長、練習から絶対に勝つ(負けたくない)という気持ちをもって取り組んでいけば、どれだけ技量が向上することか。わかっていますか、現役生諸君。その後、OBの方々からお言葉を頂戴し、選手一人ひとりの決意表明の時間に、2年GKヒデアキの発言「声援を受けると乗ってくるので皆さん応援して下さい」とはよくも抜け抜けと言えたもんだ、天晴れ！！最後は、保護者のエールで締めなのですが、今年は2年生の保護者が一人一人スピーチするという形に。これはこれで心温まる企画でした。保護者の皆さま、ありがとうございました。

¹ 9月18日無事ご長男誕生されました(3172gにて)。お名前は歩武(あゆむ)君です。「武とは、文化系を歩んだ自分を反面教師にしてほしいってということか？」という今野の意地悪な質問に対し、「歩武(ほぶ)という言葉がありまして・・・」という教養でもってさらりと受け答えたS村氏。同じ新米パパとして頑張らしましょう。